

出 題 意 図

選 抜 区 分 ： 総合型選抜／社会人選抜
科 目 名 ： 小論文
学 部 学 科 等 ： 医学部 保健学科 看護学専攻

SDGsにおける17の目標

3「すべての人に健康と福祉を」

保健学科では、持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身に付けることに強い意欲を持つ人を求めている。病気や障害をもつ人、高齢者などあらゆる健康状態であっても、“その人が望む生活や暮らしを続けられる”，そのような社会や医療，そのあり方を考えていく，あるいは考えようとする素養が必要となる。看護学を探究するうえでは，答えが1つとは言えない事柄に対して，深く知ろう・考えようとする力が求められている。

看護・医療を取り巻く情勢に目を向けると，COVID-19 パンデミックは医療提供体制やケアのあり方に大きな影響をもたらした。面会制限や人員不足といった制約は，患者や家族，そして看護職に心理的・倫理的な負担を生じさせた一方で，そのような状況下でもケアの質を維持しようとする専門職としての姿勢や，多職種協働，組織的支援の重要性が再認識された。持続可能なケアを実現するためには，個人の技術や努力だけでなく，仲間同士の相互支援や，安心して専門性を発揮できる制度や環境が不可欠である。

今年度は，このような制約下でのケア実践を手がかりに，思いやりを基盤とした倫理観，責任感，そして看護を担う者としての使命感について考え，それらを自らの態度として育んでいく姿勢を問う。